

2021年1月31日 NO.56-5

|               |   |                                          |  |    |     |
|---------------|---|------------------------------------------|--|----|-----|
| 《開会 午前10時30分》 |   | －礼拝式順序－                                  |  |    |     |
| ※は一同ご起立下さい。   |   |                                          |  | 司式 | U長老 |
|               |   |                                          |  | 奏楽 | K姉妹 |
| 前             | 奏 |                                          |  |    |     |
| 礼拝への招き        |   | 詩編 1 0 0 編                               |  |    |     |
| 挨             | 拶 |                                          |  |    |     |
| ※賛            | 美 | 詩編歌 1 2 1 (1)                            |  |    |     |
| 祈             | 祷 |                                          |  |    |     |
| 罪の告白          |   |                                          |  |    |     |
| 静             | 思 |                                          |  |    |     |
| 赦しの宣言         |   |                                          |  |    |     |
| 平和のしるし        |   | －神の招き－                                   |  |    |     |
| 照明の祈り         |   |                                          |  |    |     |
| 聖書朗読          |   | ローマの信徒への手紙 8 章 1 8 節～ 3 0 節 (新約 2 8 4 頁) |  |    |     |
| 説             | 教 | 「連帯をもって、目に見えない御霊を待ち望む」                   |  |    |     |
| 祈             | 祷 | ステファン教師                                  |  |    |     |
| 静             | 思 | －神の言葉－                                   |  |    |     |
| ※賛            | 美 | 5 0 0 (1)                                |  |    |     |
| ※信仰告白         |   | ウエストミンスター小教理問答 問 1 0 2 (週報裏面)            |  |    |     |
| ※使徒信条         |   |                                          |  |    |     |
| 献             | 金 | H姉妹・G姉妹・K姉妹                              |  |    |     |
| 執り成し          |   | U長老                                      |  |    |     |
| 主の祈り          |   | (週報裏面)                                   |  |    |     |
| －感謝の応答－       |   |                                          |  |    |     |
| ※頌            | 栄 | 5 4 0                                    |  |    |     |
| ※祝福と派遣        |   | ステファン教師                                  |  |    |     |
| ※アーメン三唱       |   | 4 0 - 5 (讃美歌 21)                         |  |    |     |
| 報             | 告 | 礼拝当番 M執事・S姉妹                             |  |    |     |
| －派 遣－         |   |                                          |  |    |     |

※体調のすぐれない方は座席についたままで礼拝にご参加ください。

## 《罪の告白と赦し》

### 罪の告白への招き

司式 罪人である私たちを、神様はなお憐れみをもって招いておられます。  
ですから、今、私たちは、神様の御前に出るにあたって、  
自らの罪を、へりくだりと信仰をもって、神様に正直に告白いたしましょう。

### 罪の告白

司式 一同で罪の告白をいたします。皆様は心の中で告白してください。  
一同 憐れみ深い父なる神よ。私たちは告白します。  
私たちの罪は、自分一人で負うには重すぎます。  
あまりにも確かで、隠すことができません。  
あまりにも複雑で、ときほぐすことができません。  
あまりにも深く、はかることができません。  
くちびるが震え、言葉にするのを恐れます。  
私たちにふさわしいのは、永遠の火による裁きです。  
変えることのできない過去の罪から解放してください。  
変えることのできる未来の可能性を開いてください。  
日々、キリストに似る者となるように、恵みを増し加えてください。  
世の光であるイエス・キリストによって祈ります  
アーメン。

司式 しばらく目を閉じて、悔い改めと赦しの願いに心を集めましょう。  
静思の時間をもちます。（４０秒）

### 赦しの確信

司式 赦しの確信の祈りを捧げましょう。皆様は心の中でお祈りください。  
一同 私たちは罪を犯し、悔いてはまた犯す愚かな罪びとです。  
しかし私たちの主イエス・キリストは、十字架の上でご自身を犠牲としてささげ、  
これによって信じる者の罪をことごとく赦すと約束し、宣言されました。  
あらゆる罪の赦しの中に例外はありません。  
このことを信じることができる幸いを、心から感謝いたします。  
どうか、この確信と喜びをもって、今日からの日々を過ごすことができますように。  
主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

### 平和のしるし

司式 神がキリストにあって私たちを赦してくださいました。  
私たちも互いに赦しあいましょう。  
主イエス・キリストの平和があなたがたと共にありますように。  
一同 アーメン。

## 今日の集会

- ◇教会学校(オンライン併用) 9:30~10:15  
 〈司会〉 U先生  
 〈お話〉 K先生  
 ◇成人学級 10:00~10:20 休会  
 ◇年報作成作業(中会諸教会配布分)  
 \*吉田牧師は朝から滋賀摂理教会に出張。  
 (説教奉仕と会員総会議長)。

## 《前週統計》

祈禱会・求道者会・教会学校はネット併用で開催

| 2021/1/24        |           | 男性    | 女性    | 男児      | 女児    | 合計     |
|------------------|-----------|-------|-------|---------|-------|--------|
| 集<br>会<br>統<br>計 | 礼 拝       | 9     | 18    | 3       | 3     | 33     |
|                  | 祈 禱 会     | 1     | 2     | 0       | 0     | 3      |
|                  | 求 道 者 会   | 1 (4) | 1 (8) | —       | —     | 2 (12) |
|                  | オリベキッズ    | —     | —     | —       | —     | —      |
|                  | 礼拝の恵み     | —     | —     | —       | —     | —      |
|                  | 教 会 成 人 科 | 6     | 10    | —       | —     | 16     |
|                  | 幼 稚 科     | 3     | 4     | 0 (0)   | 2 (0) | 2 (0)  |
|                  | 小 学 生     | —     | —     | 1 (1)   | 0 (1) | 1 (2)  |
|                  | 中 高 生     | —     | —     | 0 (1)   | 0 (0) | 0 (1)  |
|                  | 献 金       | 礼 拝   |       | 30, 050 |       |        |
|                  |           | 教会学校  |       | 1, 500  |       |        |

## 今週の集会

- ◇祈 禱 会 2月3日(水) 午前10時30分～ オンライン併用 旧約聖書の学び  
 ◇相 談 日 2月3日(水) 午後2時～5時 牧師相談日  
 ◇求道者会 2月4日(木) 午前10時30分～ オンライン併用 (家庭集会と合流)

## 次週の集会 (2/7)

- ◇教会学校 〈司会〉 Y先生  
 (ネット) 〈お話〉 S先生  
 ◇成人学級 〈担当〉 吉田謙牧師 午前10時～10時20分  
 ◇礼 拝 〈説教〉 吉田謙牧師「神の言葉を語られる方」  
 〈聖書〉 ヨハネによる福音書3章31節～36節  
 〈旧約聖書〉簡易礼拝のため省略  
 〈新約聖書〉簡易礼拝のため省略  
 〈讃美歌〉 詩編歌121・500・540  
 〈司式〉 吉田謙牧師 〈奏楽〉 K兄弟  
 〈献金〉 T姉妹・K兄弟・O姉妹  
 〈礼拝当番〉 I執事・H姉妹  
 ◇教会学校教師会 礼拝後 ◇小会 午後1時～

## お知らせ

- ◇本日、礼拝説教して下さったステファン先生(神戸改革派神学校教授)に感謝いたします。  
 ステファン・ファン・デア・ヴァット先生 プロフィール  
 1977年 南アフリカ共和国生まれ。1996年～ステレンボッシュ大学神学部で学ぶ。  
 2007年 実践神学の博士号取得。2013年～ステレンボッシュ大学神学部の研究者に任命。  
 2003年～2005年 南アフリカ・オランダ改革派教会で青年と家族対象の教会奉仕。  
 2006年1月～2009年3月 南アフリカAliwal Northで改革派教会の牧師。  
 2009年4月 妻カリナと娘アンリと共に来日。四国中会の協力宣教師就職。  
 2012年11月 徳島教会協力宣教師就職。2013年1月～2014年3月 神戸改革派神学校の非常勤講師として働く。2016年4月～ 神戸改革派神学校の教授として働く(牧会学・ケア)。  
 ◇書面による仮決議のための投票結果が出ました。有効投票総数 50票(定足数25票)、無効 0。全ての項目において満場一致で可決いたしました。ご協力ありがとうございました。  
 ◇新型コロナウイルスの感染が急激に拡大しつつあるため、基礎疾患のある方や公共交通機関を利用して来られる方は、命を守るために極力自宅で礼拝を捧げるようにして下さい。また礼拝に出席する際には必ずマスクを着用し、一階でアルコール消毒をして下さい。また密集を避けるため基本的には一つの机に二人ずつ座るようにして下さい(家族は例外)。  
 ◇祈禱会・求道者会・教会学校は、オンラインを併用しながらおこないます。  
 その他の諸集会は、当面、休会といたします。

- ◇ラジオ伝道番組「キリストへの時間」(ラジオ関西 55.8kHz 日曜日午前7時30分～45分)を聞きましょう。2月7日放送予定：宇野元先生(芦屋伝道所)「マリリン・ロビンソンの眼差し」
- ◇掲示板
- \*西部中会 世と教会に関する委員会より「信教の自由を守る日(2.11)を覚えての祈りの課題」が届いています。
- ◇今週の牧師予定
- 2月1日(月)午後1時30分～ 中会教師会(オンライン)

## 1月の祈祷課題

- ①新しい年の歩みのために。 ②昨年加入された方々、受洗された方々を覚えて。
- ③会員総会のために。 ④新型コロナウイルス感染症予防のために。 ⑤神学校のために。
- ⑥遠ざかっている方々を覚えて。 ⑦病中の方々を覚えて。 ⑧求道者の方々を覚えて。
- ⑨川島利子姉妹のために。 ⑩年間教会標語「教会に生きる喜び」
- ⑪豪雨災害、大阪北部地震、北海道地震、熊本地震、東日本大震災の復興のために。
- ⑫滋賀摂理教会・千里山教会・園田教会・神戸長田教会・恵泉教会・板宿教会・南与力町教会のために。
- ⑬1月生まれの方のために。

## 今月の掃除当番 男子会・青年会

### 【本日の聖書日課のテーマ】「教えるキリスト」

旧約聖書 イザヤ書30章18節～21節：救いするとき

新約聖書 マタイによる福音書5章17節～20節：山上の説教

「あなたの耳は、背後から語られる言葉を聞く。『これが行くべき道だ、ここを歩け、右に行け、左に行け』と」(イザヤ30:21)

神は懇切丁寧に私たちに教え、私たちを導く方であると聖書は証ししています。本来、律法もまたそのような神から与えられた恵みであったはずなのです。

福音書において主イエスも、しばしば人々を教え導く「教師」として登場いたします。

「山上の説教」の中で、主イエスは神を信じる者の生き方をひとつひとつはっきりと説いておられるのです。そのすべてがキリスト者のあるべき姿を指し示すものなのですから、それらの教えを私たちが勝手に取捨選択したり、えり好みしたりすることのないように自戒しなければなりません。問題はその言葉、その教えを私たちが水増ししたり、割り引いたりすることなく、真面目に受けとめ、真面目に生きる、ということです。

内村鑑三は言いました。「己の信じることを実行する者が真面目なる信者であります。ただただ大言壮語することは誰にもできます。いくら神学を研究しても、いくら哲学書を読んでも、われわれの信じた主義を真面目に実行するところの精神がありません。神はわれわれにとって異邦人であります」

私たち人間は「あまりにも賢い」ために、主の教えに聞き従って生きるよりも先に、その教えをあれこれとこねまわし、ああでもないこうでもない議論したあげく、それだけで一生を費やすことさえできるのです。けれども、内村の言うように、キリスト者とは「神学者」でもなければ「哲学者」のこともありません。それはキリストの教えに生きる人間のことなのです。

「山上の説教」の終わりに、「岩の上に立てられた家と砂の上に立てられた家」のたとえが語られていることを思い起こしましょう。このたとえを通じて、主はふたつの土台の違いとは、「わたしのこれらの言葉を聞いて行う者」と「聞くだけで行わない者」の違いであると語られました(マタイ7:24以下)。I テモテ書もまた、「自分自身と教えとに気を配りなさい」と記しています(4:16)。ただひたすらに「あなたの御言葉」「あなたの戒め」「あなたの掟」「あなたの口」「あなたの定め」「あなたの道」(詩編119:9-16)に教えられ、それによって日々生きる者でありたいと思います。むずかしいことではありますが、主の教えを共に聞く兄弟姉妹と共に、何とかして日々そのように歩む者でありたいと思います。

## ウエストミンスター小教理問答

問102

第二の祈願において私<sup>わたし</sup>たちは何を祈るのであるか。

答

第二の祈願である「御国<sup>みくに</sup>をきたらせたまえ」では、  
サタンの国<sup>くに</sup>が滅ぼされるように、また恵みの国<sup>くに</sup>が進展し、  
私<sup>わたし</sup>たちも他の人々もそれに入れられ、その中<sup>なか</sup>に守られるように、  
そして栄光<sup>えいこう</sup>の国<sup>くに</sup>がすみやかに来るように祈るのである。

## 使徒信条

われ<sup>われ</sup>は天地<sup>てんち</sup>の造り主<sup>つくぬし</sup>、全能<sup>ぜんのう</sup>の父<sup>ちち</sup>なる神<sup>かみ</sup>を信<sup>しん</sup>ず。  
我<sup>われ</sup>はその独り子<sup>ひとりご</sup>、我<sup>われ</sup>らの主<sup>しゅ</sup>、イエス・キリスト<sup>しん</sup>を信<sup>しん</sup>ず。  
主<sup>しゅ</sup>は聖霊<sup>せいれい</sup>によりてやどり、処女<sup>おとめ</sup>マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦し<sup>くるしみ</sup>を受け、  
十字架<sup>じゅうじか</sup>につけられ、死<sup>し</sup>にて葬<sup>おほめ</sup>られ、陰府<sup>えんぷ</sup>にくだり、  
三日<sup>みつ</sup>目に死人<sup>かめ</sup>のうちよりよみがえり、天<sup>てん</sup>にのぼり、  
全能<sup>ぜんのう</sup>の父<sup>ちち</sup>なる神<sup>かみ</sup>の右<sup>みぎ</sup>に座<sup>ざ</sup>したまえり、  
かしこより来<sup>きた</sup>りて生<sup>い</sup>ける者<sup>もの</sup>と死<sup>し</sup>ねる者<sup>もの</sup>とを審<sup>さば</sup>きたまわん。  
我<sup>われ</sup>は聖霊<sup>せいれい</sup>を信<sup>しん</sup>ず、聖<sup>せい</sup>なる公同<sup>こうどう</sup>の教<sup>きょう</sup>会<sup>かい</sup>、聖徒<sup>せいと</sup>の交<sup>まじ</sup>わり、  
罪<sup>つみ</sup>の赦<sup>ゆる</sup>し、身体<sup>からだ</sup>のよみがえり、永遠<sup>とこしえ</sup>の生命<sup>いのち</sup>を信<sup>しん</sup>ず。アーメン。

## 主の祈り

天<sup>てん</sup>にまします我<sup>われ</sup>らの父<sup>ちち</sup>よ、  
ねがわくは、み名<sup>な</sup>をあがめさせたまえ。  
み国<sup>くに</sup>を来<sup>きた</sup>らせたまえ。  
みこころの天<sup>てん</sup>になるごとく、地<sup>ち</sup>にもなさせたまえ。  
我<sup>われ</sup>らの日用<sup>にちよう</sup>の糧<sup>かて</sup>を、今日<sup>きょう</sup>も与<sup>あた</sup>えたまえ。  
我<sup>われ</sup>らに罪<sup>つみ</sup>をおかす者<sup>もの</sup>を、我<sup>われ</sup>らがゆるすごとく、  
我<sup>われ</sup>らの罪<sup>つみ</sup>をもゆるしたまえ。  
我<sup>われ</sup>らを、こころみにあわせず、悪<sup>あく</sup>より救<sup>すく</sup>い出<sup>だ</sup>したまえ。  
国<sup>くに</sup>と力<sup>ちから</sup>と栄<sup>さか</sup>えとは、  
限<sup>かぎ</sup>りなく、なんじのものなればなり。アーメン。